

新型コロナウイルス感染症対策

世界中で流行している新型コロナウイルス感染症ですが、日本国内でも感染拡大しています。

このような非常事態では、本学関係者がいつ感染してもおかしくない状況です。

新型コロナウイルスに感染しない・感染させないためには、一人ひとりができる感染症対策を実践していただく必要があります。

安全安心な大学生活を送るために、みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

（１）手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にも目には見えないウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

大学のいろいろな場所に、手指消毒剤（次亜塩素酸水）を設置していますので利用してください。

（２）咳エチケット

感染症を他者に感染させないために、咳くしゃみをする際、マスクやティッシュやハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえるようにするなど、咳エチケットを心がけましょう。

（３）普段の健康管理

普段から、バランスのよい食事を心がけ、十分な睡眠をとっていただくことも重要です。換気の良い場所での運動を行いましょう。免疫力を高めることができ、万が一感染したとしても軽症で済みます。

（４）適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では、加湿器や濡れたバスタオルを部屋に干すなど、適切な湿度（50～60%）を保ちます。

（５）集団感染の予防のため、外出時には以下のことに注意しましょう。

集団感染の共通点は、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

【3密に注意！】

- ①換気の悪い密室空間を避ける
- ②多数が集まる密集場所を避ける
- ③間近で会話や発生する密接場面を避ける

他の都道府県では夜間の外出を控えるよう要請もされています。上記のような「密」の場所には行かないようにしてください。

■ 体調不良時の対応（相談・受診）について

毎朝検温して、自己の体調管理に努めてください。

発熱などのかぜ症状がある場合は、大学やアルバイトなどの外出はやめましょう。イベントなどへの参加も中止し、自宅で体を休めて様子を見ましょう。

新型コロナウイルス感染症のひとつの特徴として、発熱や咳などの初期症状が比較的長く（4日以上）続き、その後重症化していく傾向にあります。自宅療養中でも、症状で心配なことがあれば、まずかかりつけ医に電話で相談してください。自己の判断で複数の医療機関を受診することは絶対に控えてください。

下記のような症状があるときは「帰国者・接触者相談センター」（各健康福祉事務所・保健所）に連絡してください。

- ①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ②強いだるさ（倦怠感（けんたいかん））や息苦しさ（呼吸困難）がある場合

「帰国者・接触者相談センター」では、電話での相談を受けて感染が疑われると判断した場合には、適切な医療機関を受診していただけるよう調整します。その場合には、マスク着用、手洗い、咳エチケットの徹底の上、同センターより指示された通りに行動をしてください。また、大学にもその旨を連絡してください。

■ 感染症患者と接触した可能性がある学生の方へ

ご自身やご家族が感染症患者と接触した場合や、集団感染が発生した場所へ当該日時に滞在していたなど、少しでも感染症患者と接触した不安がある場合は、健康状態に注意するとともに、感染拡大を止めるために外出は控えてください。

また、症状が出ていなくても、「帰国者・接触者相談センター」に連絡し、大学にもその旨を連絡してください。

※ 最新情報は、厚生労働省のホームページを確認してください。「厚労省 コロナ」で検索。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

その他、質問・相談があれば学生生活・国際交流課までにご連絡ください。

神戸芸術工科大学 学生生活・国際交流課

電話：（078）794－5024

E-mail：student-a@kobe-du.ac.jp